

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年9月27日

【四半期会計期間】 第57期第2四半期
(自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)

【会社名】 株式会社 平和堂

【英訳名】 HEIWADO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 夏原平和

【本店の所在の場所】 滋賀県彦根市小泉町31番地

【電話番号】 (0749)23-3111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 竹中昭敏

【最寄りの連絡場所】 滋賀県彦根市小泉町31番地

【電話番号】 (0749)23-3111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 竹中昭敏

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第56期	第57期	第56期
		第2四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第56期
会計期間		自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日	自 平成24年2月21日 至 平成25年2月20日
売上高	(百万円)	182,003	184,007	367,614
経常利益	(百万円)	5,528	6,455	12,854
四半期(当期)純利益	(百万円)	2,798	4,386	5,528
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	3,157	6,065	7,116
純資産額	(百万円)	113,767	122,367	117,063
総資産額	(百万円)	281,907	287,511	278,806
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	50.64	79.39	100.06
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	39.7	41.8	41.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	12,968	13,238	19,057
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	9,266	6,841	14,332
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,107	2,205	6,459
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	14,024	16,995	12,075

回次		第56期	第57期
		第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年5月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	31.14	38.14

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）におけるわが国経済は、新政権の経済政策による公共投資増や輸出の持ち直し、円安・株高基調により景気は緩やかな回復傾向を見せたものの、新興国経済の下振れ、電力料金の値上げ等不安定なまま推移いたしました。

当小売業界におきましても、業種・業態を越えた競合激化、原材料の高騰、節約志向が継続するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、「株式会社平和堂」は、お客様満足度を向上させるために、際立った売場、商品、サービスの改革を行い、他社との差異化に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,964億97百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益62億5百万円（前年同期比13.8%増）、経常利益64億55百万円（前年同期比16.8%増）、四半期純利益は、43億86百万円（前年同期比56.8%増）の結果となりました。

事業のセグメント別業績は以下のとおりであります。

[小売事業]

「株式会社平和堂」におきましては、4月に「フレンドマート葛野山ノ内（かどのやまのうち）店」（店舗面積999m²、京都府京都市）を、8月に「平和堂グリーンプラザ店」（直営面積2,194m²、愛知県名古屋市）を、いずれもスーパーマーケットタイプの店舗として新設、地域の利便性向上に努めました。既存店では、大型店のアル・プラザ鹿島（石川県鹿島郡）の改装を実施いたしました。

商品面では、衣料品においては、機能性肌着や地産商品を中心とした開発商品の拡販に取り組みました。住居関連品においては、薬品のEDLP政策や寝具・家庭用品における海外開発商品の増加等による粗利益率改善に努めました。食料品においては、お客様ニーズに合わせ付加価値を高めた生鮮品の拡大や加工食品におけるEDLP商品の品目数増、日配品における週替わりでの単品量販商品の販売推進に取り組みました。

販促面では、カード会員様の積極的な募集を実施、合わせて会員様向け販促や優待施設を増やすなど固定客作り・来店客数増に向けた施策を継続して実施いたしました。

買物代行及び暮らしのお手伝い事業においては、新たに2店舗にて開始、地域密着企業としてお客様へのサービスを充実させてまいりました。

また、筋肉質で効率的な会社経営のために、チラシ内容の見直しを始めとする費用減や作業改善の推進による生産性の向上を継続して実施いたしました。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂(中国)有限公司」は、4月に新設した「平和堂中国AUX(奥克斯)広場店」が寄与し増収となりましたが、新店費用が高み減益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、主力店舗の改装期間中の営業規模縮小もあり減収となりましたが、株式会社平和堂との仕入れ統合や経営管理システムの導入を行い、利益改善をいたしました。

書籍販売業やCD・DVDレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、2店舗を改装しましたが、主力事業のレンタル部門の低迷に歯止めが掛からず、減収・減益となりました。

小売事業連結営業収益	1,863億50百万円	(前年同期比 1.1%増)
小売事業連結営業利益	48億10百万円	(前年同期比 15.3%増)

[小売周辺事業]

精肉・鮮魚及び惣菜、弁当の製造加工業を展開する「株式会社ベストオーネ」は新規商品の販売拡大により、増収・増益となりました。

ビル管理業を展開する「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規取引先の開拓により、増収・増益となりました。

小売周辺事業連結営業収益	26億77百万円	(前年同期比 4.3%増)
小売周辺事業連結営業利益	9億58百万円	(前年同期比 5.2%増)

[その他事業]

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、高単価メニューの拡充やサービスレベルの向上や経費の更なる削減により、増収・増益となりました。

その他事業連結営業収益	74億69百万円	(前年同期比 0.6%増)
その他事業連結営業利益	4億33百万円	(前年同期比 16.2%増)

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品等が減少したものの、現金及び預金、有形固定資産、無形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ87億5百万円増加して2,875億11百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ34億2百万円増加して1,651億44百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ53億3百万円増加して1,223億67百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、対前連結会計年度末比49億20百万円増加の169億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

仕入債務の増減額が8億50百万円減少、預り金の増減額が2億44百万円減少などによる運転資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益が21億93百万円増加、たな卸資産の増減額が4億88百万円減少したことなどにより、営業活動による資金の収入は対前年同期比2億69百万円増加の132億38百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形及び無形固定資産の取得については、前年同期より19億19百万円少ない43億60百万円支出した一方、敷金及び保証金の回収による収入が6億69百万円ありました。これらの結果、投資活動による資金の流出は対前年同期比24億24百万円減少の68億41百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れによる収入が118億円あった一方、短期借入金の減少が95億55百万円、長期借入金の返済による支出が47億47百万円ありました。これらの結果、財務活動による資金の流出は対前年同期比9億1百万円減少の22億5百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年9月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	58,546,470	58,546,470	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	58,546,470	58,546,470		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年8月20日		58,546,470		11,614		19,017

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
夏原平和	滋賀県彦根市	4,726	8.07
株式会社ピース&グリーン	滋賀県彦根市小泉町31番地	4,050	6.91
平和堂共栄会	滋賀県彦根市小泉町31番地	2,986	5.10
株式会社滋賀銀行	滋賀県大津市浜町1番38号	2,500	4.27
平和観光開発株式会社	滋賀県彦根市小泉町31番地	2,394	4.08
公益財団法人平和堂財団	滋賀県彦根市小泉町31番地	2,000	3.41
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	1,861	3.18
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,665	2.84
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,580	2.69
夏原千代	滋賀県彦根市	1,434	2.44
計		25,199	43.04

- (注) 1 平和堂共栄会は当社の取引先を会員とする持株会であります。
2 当社は、自己株式3,291千株(5.62%)を保有しておりますが、上記大株主より除いております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,291,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,215,000	552,150	
単元未満株式	普通株式 39,970		(注)
発行済株式総数	58,546,470		
総株主の議決権		552,150	

- (注) 「単元未満株式」欄には当社(株平和堂)所有の自己株式25株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株平和堂	滋賀県彦根市小泉町31番地	3,291,500		3,291,500	5.62
計		3,291,500		3,291,500	5.62

- (注) 当第2四半期会計期間末現在の自己株式数は3,291,525株です。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年5月21日から平成25年8月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年8月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,614	20,798
受取手形及び売掛金	4,578	4,865
商品及び製品	18,708	17,349
原材料及び貯蔵品	165	210
その他	6,173	8,733
貸倒引当金	116	103
流動資産合計	45,123	51,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,699	85,485
土地	93,659	96,450
その他(純額)	7,376	8,636
有形固定資産合計	187,735	190,572
無形固定資産		
のれん	353	1,368
借地権	5,715	5,943
その他	1,839	1,982
無形固定資産合計	7,908	9,295
投資その他の資産		
投資有価証券	5,173	5,184
敷金及び保証金	24,489	24,221
その他	8,695	6,703
貸倒引当金	320	320
投資その他の資産合計	38,037	35,789
固定資産合計	233,682	235,658
資産合計	278,806	287,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,469	29,327
短期借入金	29,359	23,886
未払法人税等	2,298	2,687
賞与引当金	1,276	1,302
ポイント引当金	6,643	6,803
利息返還損失引当金	150	119
その他	21,204	24,834
流動負債合計	88,401	88,961
固定負債		
長期借入金	50,512	53,483
退職給付引当金	8,988	9,092
資産除去債務	2,402	2,459
受入敷金保証金	11,053	10,745
その他	382	402
固定負債合計	73,340	76,182
負債合計	161,742	165,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,017	19,017
利益剰余金	87,830	91,498
自己株式	5,166	5,166
株主資本合計	113,295	116,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,356
為替換算調整勘定	384	1,796
その他の包括利益累計額合計	1,681	3,153
少数株主持分	2,086	2,249
純資産合計	117,063	122,367
負債純資産合計	278,806	287,511

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
売上高	182,003	184,007
売上原価	128,120	129,648
売上総利益	53,882	54,358
営業収入	12,295	12,489
営業総利益	66,178	66,848
販売費及び一般管理費	¹ 60,726	¹ 60,643
営業利益	5,451	6,205
営業外収益		
受取利息	251	225
その他	284	288
営業外収益合計	535	513
営業外費用		
支払利息	260	223
為替差損	36	-
その他	161	39
営業外費用合計	458	263
経常利益	5,528	6,455
特別利益		
固定資産売却益	0	502
資産除去債務消滅益	82	0
投資有価証券売却益	8	685
特別利益合計	91	1,187
特別損失		
固定資産除却損	371	126
固定資産売却損	6	40
固定資産撤去費用	-	54
減損損失	0	11
その他	25	0
特別損失合計	403	233
税金等調整前四半期純利益	5,216	7,410
法人税、住民税及び事業税	1,980	2,783
法人税等調整額	302	110
法人税等合計	2,283	2,893
少数株主損益調整前四半期純利益	2,932	4,516
少数株主利益	134	129
四半期純利益	2,798	4,386

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,932	4,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	60
為替換算調整勘定	188	1,488
その他の包括利益合計	224	1,548
四半期包括利益	3,157	6,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,012	5,858
少数株主に係る四半期包括利益	144	206

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,216	7,410
減価償却費	5,210	5,209
のれん償却額	24	20
退職給付引当金の増減額(は減少)	135	103
受取利息	251	225
支払利息	260	223
固定資産除却損	371	126
資産除去債務消滅益	82	0
売上債権の増減額(は増加)	20	201
たな卸資産の増減額(は増加)	922	1,411
仕入債務の増減額(は減少)	2,131	1,281
預り金の増減額(は減少)	1,245	1,001
その他	453	700
小計	15,617	15,660
利息及び配当金の受取額	212	251
利息の支払額	263	231
法人税等の支払額	2,598	2,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,968	13,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	728	254
有形及び無形固定資産の取得による支出	6,280	4,360
短期貸付けによる支出	1,899	2,256
短期貸付金の回収による収入	1,227	104
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	635	-
長期前払費用の取得による支出	220	1,342
敷金及び保証金の差入による支出	1,170	62
敷金及び保証金の回収による収入	735	669
その他	294	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,266	6,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,946	9,555
コマーシャル・ペーパーの純増減額(は減少)	2,000	1,000
長期借入れによる収入	9,600	11,800
長期借入金の返済による支出	7,913	4,747
配当金の支払額	828	718
自己株式の取得による支出	0	0
その他	17	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,107	2,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	729
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	701	4,920
現金及び現金同等物の期首残高	13,323	12,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 14,024	¹ 16,995

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結会社以外の会社の差入保証金返済請求権の譲渡に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
綾羽(株)	1,405百万円	綾羽(株)	1,204百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
広告宣伝費	2,471百万円	2,266百万円
販売促進費	2,350	2,392
給料及び賞与	25,061	25,258
賞与引当金繰入額	1,270	1,300
退職給付費用	764	813
賃借料	6,273	6,226
減価償却費	5,210	5,209

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
現金及び預金	18,097百万円	20,798百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	4,073	3,802
現金及び現金同等物	14,024	16,995

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月17日 定時株主総会	普通株式	828	15	平成24年2月20日	平成24年5月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月27日 取締役会	普通株式	663	12	平成24年8月20日	平成24年11月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 定時株主総会	普通株式	718	13	平成25年2月20日	平成25年5月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月26日 取締役会	普通株式	663	12	平成25年8月20日	平成25年11月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売	小売周辺	その他	計		
営業収益						
外部顧客への売上高	184,305	2,566	7,426	194,298		194,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,049	11,254	31	15,334	15,334	
計	188,354	13,820	7,457	209,632	15,334	194,298
セグメント利益	6,031	874	388	7,295	1,766	5,528

- (注) 1 セグメント利益の調整額 1,766百万円は、受取配当金の取引消去等であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売	小売周辺	その他	計		
営業収益						
外部顧客への売上高	186,350	2,677	7,469	196,497		196,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,054	11,875	44	17,974	17,974	
計	192,404	14,552	7,513	214,471	17,974	196,497
セグメント利益	6,345	948	448	7,742	1,286	6,455

- (注) 1 セグメント利益の調整額 1,286百万円は、受取配当金の取引消去等であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	50円64銭	79円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,798	4,386
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,798	4,386
普通株式の期中平均株式数(株)	55,255,516	55,255,057

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第57期(平成25年2月21日から平成26年2月20日まで)中間配当については、平成25年9月26日開催の取締役会において、平成25年8月20日最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払うことについて決議いたしました。

配当金の総額	663百万円
1株当たり配当金	12円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年11月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月26日

株式会社平和堂
取締役会御中

京都監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中村 源 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鍵 圭一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社平和堂の平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年5月21日から平成25年8月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年8月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社平和堂及び連結子会社の平成25年8月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。